



OPC サーバ ーのセキュ リティセン ター

インストールと設定マニユ アル

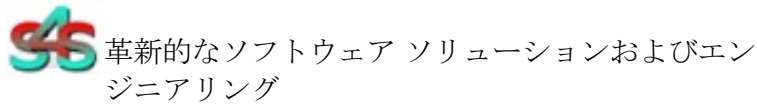
改訂履歴：

バージョン	日付	状態
1.0	9 月 2015	リリース
1.1	2016 年 11 月	アラーム状態で追加エンティティ
1.2	2 月 2017	追加されました診断のカメラとマクロ

1.3	2 月 2017	カメラを追加しましたアラーム状態プロパティ
-----	----------	-----------------------

のプロパティ S4S - 革新的なソフトウェアソリューションとエンジニアリングサービス

私たちは、この文書にし、その対象のすべての権利を留保します。文書の受け入れにより、受信者は、これらの権利を認め、完全にまたは部分的にその文書にも対象を公開し、また私たちの前に書面による許可なしに第三者にそれらを利用可能にすること、またどのような目的のためにそれを使用しないように約束しますそのため、それは彼に配信された以外。



IC OPC ServerSecurityCenter - Doc.n°IC-001 017 147
変更は、最新情報では、当社のウェブサイトを参照してください。www.s4s.it

S4S - 20018 - - 経由 ヴェスブッチ 6 セドリアーノ (MI) - イタリ
ア - VAT 05172500968 電話。+39 3939505055 - ファックス。+39 02
36547223 - 電子メール : info@s4s.it

表 内容の

1. 用語集.....	3
2. 前書き.....	3
3. 約 OPC サーバセキュリティ センター.....	4
4. システム要求.....	5
5. インストールガイド.....	6
5.1 登録 OPC の サーバ.....	6
5.2 認証 そして アクセス権.....	7
5.3 ライセンス.....	13
5.3.1 の仕方 得ます ライセンス.....	13
5.3.2 ソフトウェア ライセンス 活性化.....	13
6. システム構成.....	14
7. OPC TAG.....	21
8. バージョンからの変更 OPC セキュリティセンター 1.0.3.....	23

1. 用語集

略語	説明
OPC	OLE プロセス制御のための
OLE	オブジェクトのリンク そして、埋め込み
GUI	グラフィック・ユーザー インタフェース
SCADA	監視制御および データ収集

2. 前書き

これは OPC サーバセキュリティセンターのユーザーマニュアル。サーバーは、イーサネット上でセキュリティセンターコントローラと通信し、プロセス制御（OPC）のための Microsoft のオブジェクトのリンクと埋め込み（OLE）を経由してクライアントのとのデータ交換をサポートしています。

S4S の OPC サーバは MM8000、DESIGO CC としてシーメンス管理ステーションの OPC ドライバとして動作するソフトウェアパッケージです。™ そして Cerberus™ DMS。ザ・OPC サーバは、デバイスとホスト OPC マシンの様々な種類への接続を可能にする OPC DA2.0 の最新の標準を満たしています。

マニュアルを提供するために、組織化されました OPC 技術の概要、設定環境の詳細な情報や OPC タグの OPC サーバが提供するの完全なリスト。

3. 約 OPC サーバセキュリティ センター

OPC サーバーのセキュリティセンターは MM8000、DesigoCCTM と CerberusTM DM などの OPC クライアントドライバで管理ステーションにセキュリティセンターコントローラからのリアルタイムデータを提供し「DA」として知られている OPC データアクセス、に基づいています。

サーバは、セキュリティセンター経由と通信します TCP-IP 経由ゼネテックセキュリティセンター5.2 SDK

OPC サーバーは読み込み、イーサネット経由でコントローラにし、セキュリティセンターからのデータを書き込みます。サーバーは、「エクスプローラ」ルックアンドフィールを持つグラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) の設定環境を持っています。構成環境は、サーバーがクライアントに代わって、これらのシステムと通信できるように、サーバーは、このようなコントローラの IP アドレスと使用可能なグローバル変数などの情報で構成することができます。

応用名 : OPC- SecurityCenter.exe

OPC 名 : 「S4S.OPC- セキュリティ センター " (xml ファイル

で設定することができます) OPC DESCRIPTION : 「OPC サーバ -

セキュリティセンター " (xml ファイルで設定することができます) OPC GUID : { 460761AD-5320-48F9-9140-E3D7120F81CE }

4. システム要求

ザ・ OPC サーバセキュリティセンターのアプリケーションは、Windows Server 2003/2008/2012 をサポートする任意のハードウェア上で動作する、Windows XP は、Windows 7 または DCOM を使用して Windows 8 は、Visual C ++ 2010 再頒布可能パッケージと .NET Framework 4 がインストールされています。

システム必要があります プログラムをインストールするには、ディスクの空き領域の 10 MB の空きメモリの 1 GB のロードおよびアプリケーションを実行するために必要です。すべてのシステム情報は、サーバーのディスクに格納されます。設定の目的のためにコンピュータに接続されたモニタが必要です。

OPC サーバは、両方の 32/64 ビットオペレーティングシステム上で動作する 32 ビット・

アプリケーションです。 [ハードウェア 特性推奨](#)

- CPU i5 のハイエンド (例えばインテル Core i5 の 4690K) または I7 ミッドレンジ (例えばインテル Core i7-4770K)
- RAM : 4 ギガバイト

[小切手 ネットワーク上の](#)

から サーバは TCP-IP 経由セキュリティセンターと通信し、イーサネットネットワークは、所定の位置になければなりません。ネットワーク自体が完全にテストされなければならないとコントローラおよびサーバコンピュータを接続する前に動作させるために知られています。支援については、システム管理者に問い合わせるか、ネットワークを設定するに教育のドキュメントやマニュアルを参照してください。これは、任意の詳細なネットワークのトピックを議論するために、このユーザーマニュアルの範囲を超えています。

一度 ネットワークが利用可能なネットワークテストツールと、ping コマンドなどのプログラムを使用して接続を確認、場所にあり、サーバコンピュータとコントローラが取り付けられています。

5. インスト ガイド

OPC サーバのインストールの前に、お使いのコンピュータにインストールしてくださいされていない場合、それは、ビジュアル C ++ 2010 再頒布可能パッケージゼネテックセキュリティセンター5.2 SDK をインストールされていることを確認してください。

OPC サーバセキュリティセンターは、自身の特定のセットアップを備えています。セットアップは、すべての依存関係（例 WtOPCSvr.DLL - 。 OPC サーブライブラリー）アプリケーションの適切な機能を確保するために。

- *S4S_OPC_Library.dll*
- *S4SGenCodeInfo.dll*
- *S4SGenCodeInfoLibrary.dll*
- *ObjectListView.dll*
- *WtOPCSvr.dll*
- *SysInfo.dll*

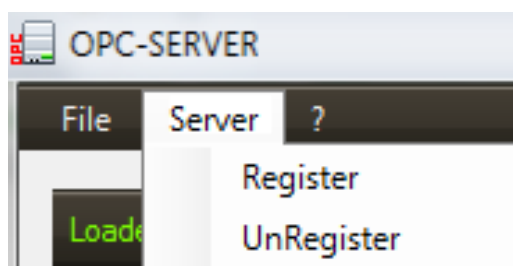
OPC-Server の セキュリティセンターの SDK を使用するには、それがゼネテックが発表したクライアント証明書を持っている必要があります。「証明書」フォルダ（このフォルダは、インストールフォルダ内の OPC サーバのセットアップ後に作成される）正しい証明書に追加し、「OPC- SecurityCenter.exe.cert」として名前を変更します。SDK を介した OPC-Server はそれと通信できるようにセキュリティセンターのシステムに SDK のコントロールを有効にします。

もし 証明書が追加されていないか、適切ではないされ、OPC サーバは、セキュリティセンターのシステムに接続することができません。

二 セキュリティの問題は、注意が必要です。

- インスト 管理者権限を必要とします。
- ウィンドウズ ファイアウォールを設定する必要があります。
- DCOM のセキュリティ設定しなければなりません 設定します。このガイドでは、必要な設定を行う方法について説明します。

5.1 登録 OPC サーバの



画像 1 の登録と登録解除

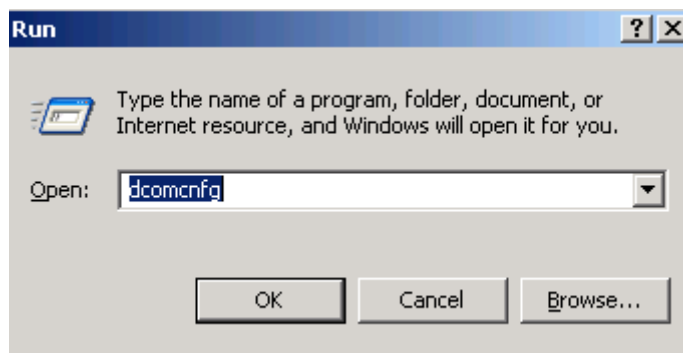
- サーバーを登録するには、メニューの「サーバ」の「登録」をクリックする必要があります。
- OPC サーバの登録を解除するには、メニューの「登録解除」「Server」をクリックする必要があります。

5.2 認証 そして、権限

OPC 後 サーバーの登録は、COM セキュリティは、OPC クライアントが自動的に OPC サーバを呼び出すことができますので、有効にする必要があります。

以下「DCOMCNFG1」を使用して、セキュリティ COM を有効にするために必要なすべての手順を示しています。

1. それを確認する DCOM セキュリティ登録が正常に実行されました。
2. DCOMCNFG を実行し（のみ 管理者が実行することができます 'Dcomcnfg.exe' を）。'を使用するには *RUN* コマンドの *Windows*" か 'コマンド・プロンプト'、DCOMCNFG プログラムを開きます。



画像 2 DCOMCNFG - ラン

3. 次のノードを展開し、マイコンピュータアイテムを見つけます。コンポーネントサービス>コンピュータ。
4. 右クリック マイコンピュータおよび[プロパティ]を選択します。

¹ **DCOMCNFG.EXE** 提供 レジストリ内の特定の設定を変更するためのユーザーインターフェース。Dcomcnfg.exe を使用することにより、あなたはどちらか、コンピュータ全体またはプロセス全体でセキュリティを有効にすることができます。プ



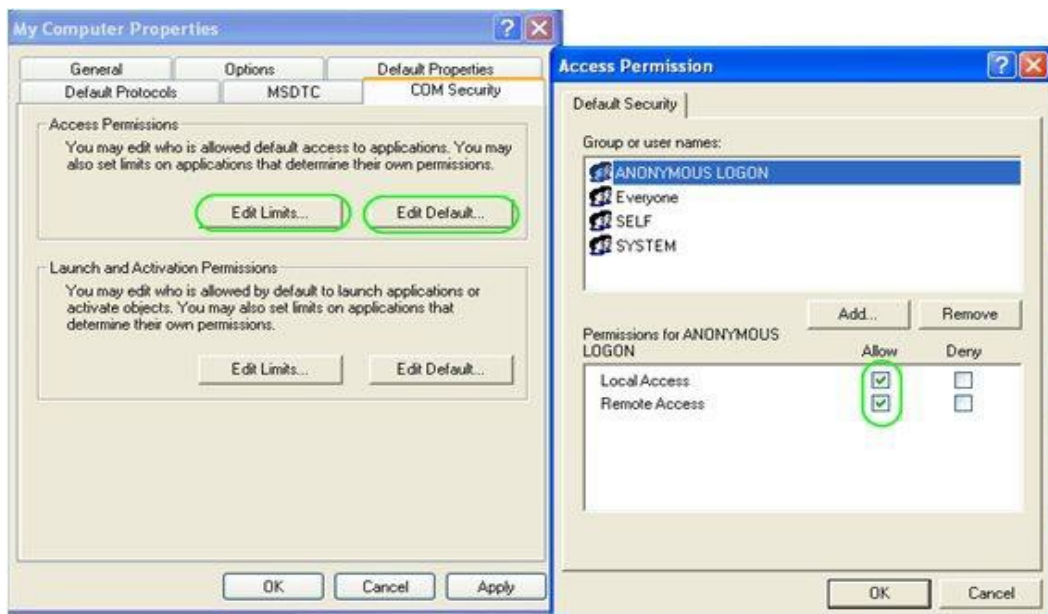
プロセスは、プログラムまたはレジストリ値を通じて、独自のセキュリティ設定を提供していないとき、Dcomcnfg.exe をよって設定された値が使用されるようにするには、特定のコンピュータのセキュリティを有効にすることができます。それともあなたは、特定のアプリケーションのセキュリティを有効にするために Dcomcnfg.exe を使用することができます。

注意：あなたがでなければなりません Dcomcnfg.exe を実行するには、管理者。



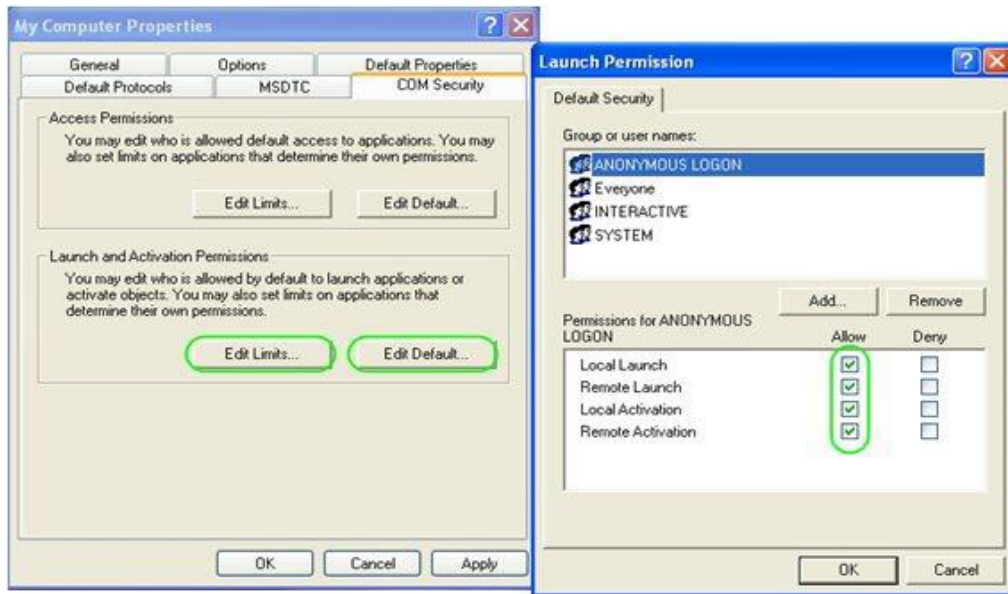
画像 3 コンポーネントサービスプロパティ

5. COM セキュリティ]タブに移動します。ここに「ANONYMOUS LOGON」と「みんな」を追加し、ユーザーのそのグループにすべてのアクセス許可を与え、許可にアクセスするためのデフォルト設定を編集します。制限の設定のためのセットアップを繰り返します。



画像 4 COMセキュリティのアクセス許可

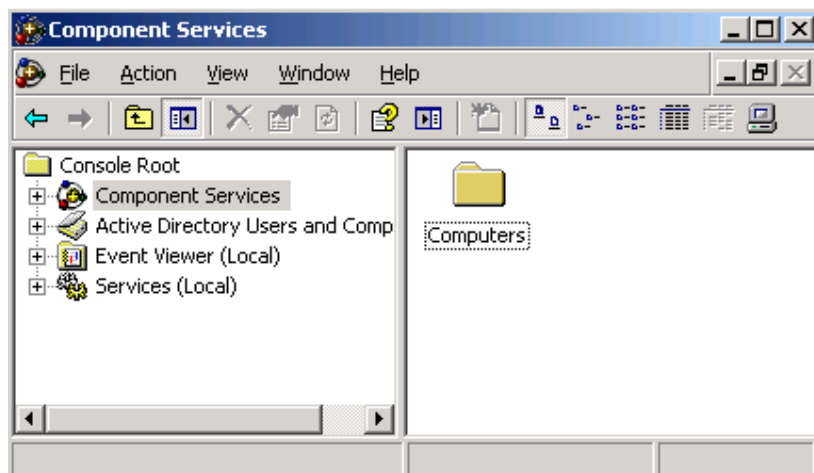
6. 今すぐ編集 起動とアクティブ化のアクセス許可のデフォルト設定は、ここに「ANONYMOUS LOGON」と「みんな」を追加し、ユーザーのそのグループにすべてのアクセス許可を与えます。制限の設定のためのセットアップを繰り返します。



画像 5 COM セキュリティ起動とアクティブ化のアクセス許可

ザ・ OPC クライアントが再起動されたときに、新しい設定が有効になります。そのため、コンポーネントサービス (DCOMCNFG プログラム) を閉じて、OPC クライアントアプリケーションを再起動してください。

7. ツリービューを使用して DCOMCMFG チェックするために、すべての DCOM を登録しました。



画像 6 DCOMCMFG

選択「コンポーネントサービス」アイテム、「マイコンピュータ」と「DCOM の構成」アイテムよりも「コンピュータ」、より。
OPC を探します XML ファイルで構成されている DCOM リストに登録されたサーバー名が、それは同じでなければなりません。

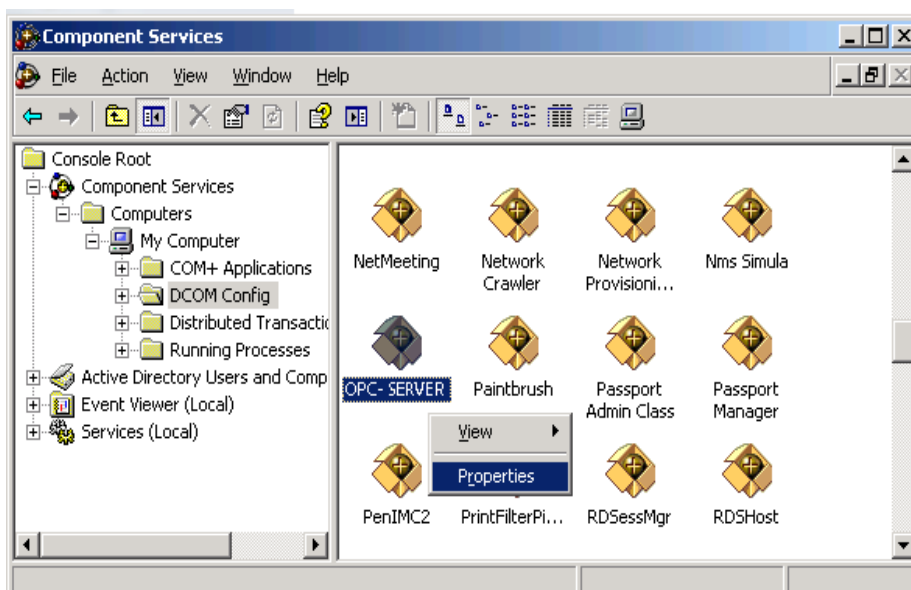
XML ファイルの例：

```
<OPC_PROTOCOL デリミタ="" OPC_name=" OPC-SERVER" OPC_description="OPC サーバ - セキュリティセンター" ...>
```

OPC サーバ 名前が登録されている：「OPC-の SecurityCenter」、この例では名前は、

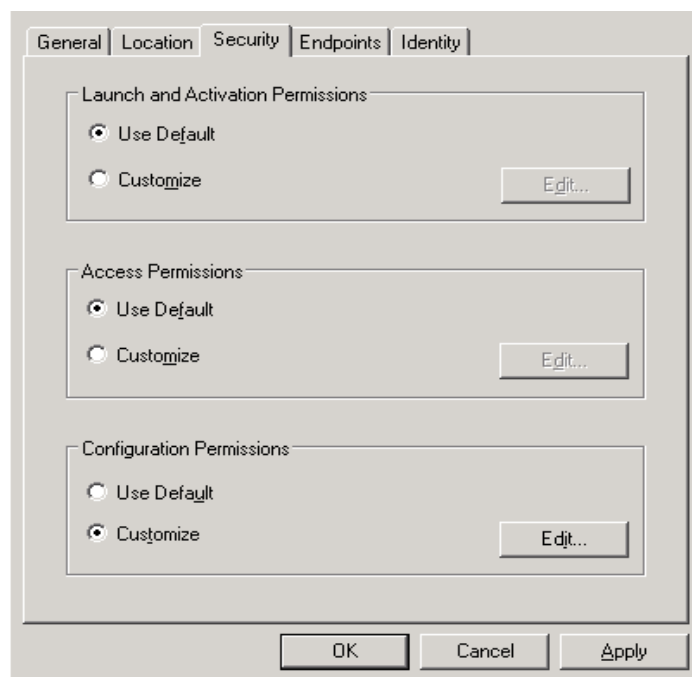


「OPC-SERVER」です。



画像 7 DCOMCNFG - OPC サーバを探します

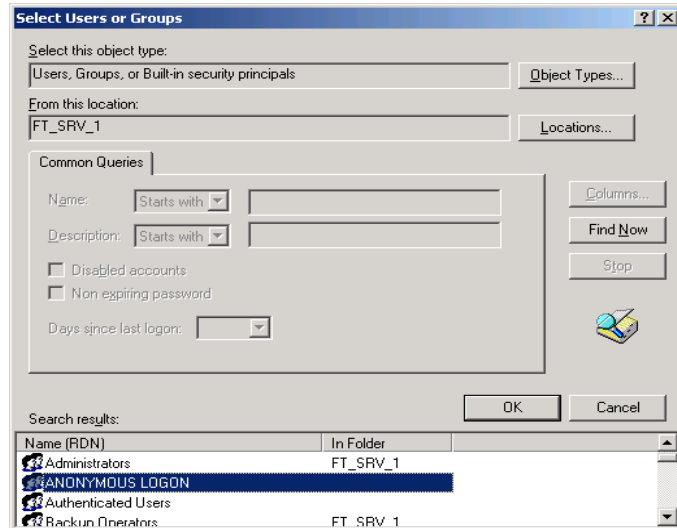
8. OPC サーバの設定権限。選択「OPC-SERVER」登録[プロパティ（右ボタンを押す）して、[セキュリティ]タブを選択します。
 - a. 」を選択カスタマイズ「中 インクルード 「設定権限」 [OK]をクリックします "編集" ボタン。



画像 8 DCOMCNFG - 構成のアクセス許可

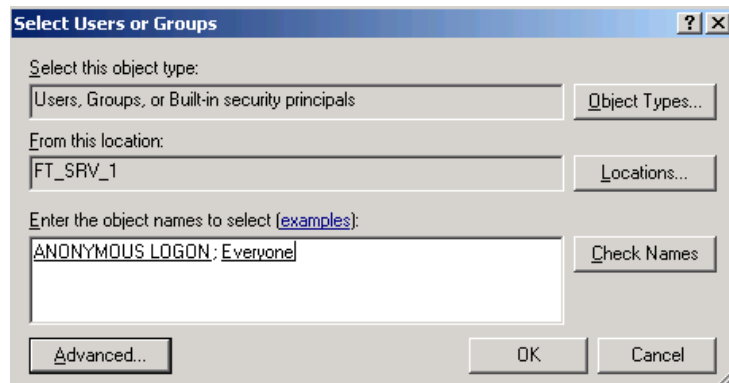
- b. ボタンを「追加」を選択し 新しいユーザーを追加し、新しいフォームで、[詳細]ボタンを選択します。

- c. クリック「検索」ボタンは、「すべての人」と「ANONYMOUS LOGON」ユーザーを検索します。



画像 9 DCOMCNFG - ユーザーを探します

- d. 「みんな」と「ANONYMOUS」を追加 LOGON "ユーザー;

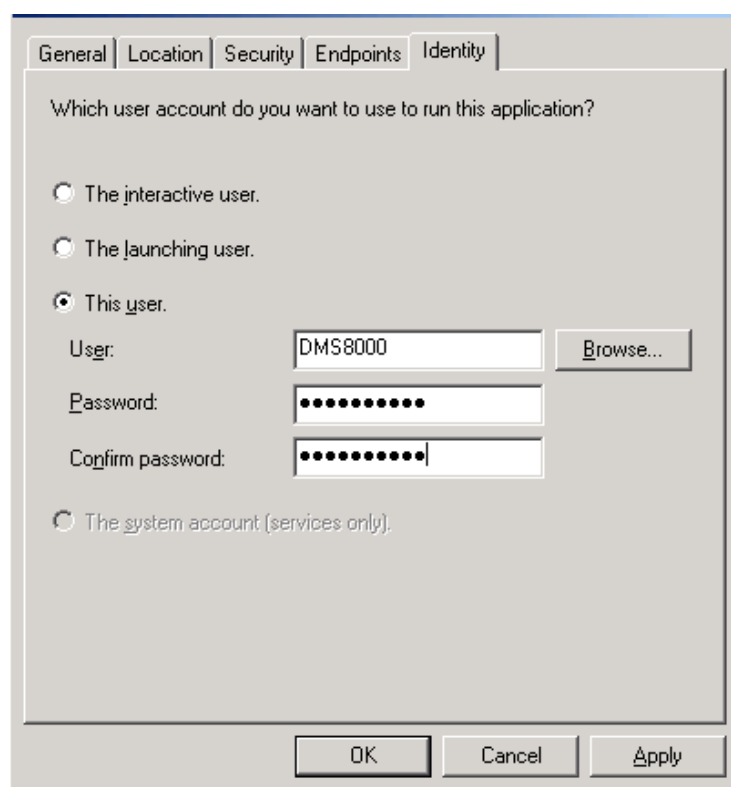


画像 10 DCOMCNFG - ユーザーを追加します。

- e. 供給する 追加されたユーザーへのすべてのアクセス許可。

9. OPC サーバ ID を設定します。「アイデンティティ」タブを選択します。

このユーザを設定 そして、MM8000 にアクセスするために使用するユーザとパスワードを挿入します。



画像 11 DCOMCNFG - アイデンティティ

注意： デモ版では動作します 唯一の発射や対話ユーザーと。起動または Interactive 異なるユーザーは、OPC-Server が登録さ PAK で実行した場合にのみ使用することができます。

5.3 ライセンス

任意の時間制限なしで OPC サーバを実行するには、定期的にソフトウェアのライセンスは、S4S から購入する必要があります。

ソフトウェアライセンスは、という点で OPC サーバで管理される最大構成を定義しています。

- scenari の N°
- カメラの N°

ソフトウェアライセンスなし OPC サーバセキュリティセンターは、2 時間のフル機能をデモモードで実行されます。デモモードでのみ起動するか、対話ユーザーで実行されます (OPC サーバの ID を参照してください 9)。

5.3.1 どうやってライセンスを取得するには

ソフトウェアのライセンスは、S4S から取得しなければならないと要求は、OPC サーバがインストールされているコンピュータから実行する必要があります。そのユーザーインターフェイスの選択から「？」そして、「OPC Server のセキュリティセンターに関する情報は、」その後「を表示ライセンス」し、「プロダクトアクティベーション」。

に「プロダクトアクティベーション」は以下のフィールドが満たされる必要があります：

- 顧客インストールデータ
 - ユーザー名、
 - 組織、
 - E メール、
- セキュリティセンターの設定 観点：シナリオの数。
- （「新しいユーザーコードを生成」ボタンを経由して）コード生成。
- セーブ コードと直接に送ります 'orders@s4s.it 'または経由でそれを送る 『それは、コンピュータ上のメールボックスを設定されている場合は送信』 ボタンを押します。

PAK（プログラム認証キー）のコードは、その特定の構成のために、ソフトウェアのライセンスを要求された PC 用に生成されます。

5.3.2 ソフトウェア ライセンスアクティベーション

ライセンスをアクティブ化するには、「管理者」として OPC-Server を実行しなければならないと「プロダクトアクティベーション」ダイアログにアクセスすると「ロード新しいライセンス」ボタンを通じてあなたが S4S が発表したライセンスファイルをロードします。ダイアログには、活性化の結果を示すために、ロードの最後にフィードバックするために表示されます。

6. システム構成

目的 このセクションのセキュリティセンターを構成するために必要な情報を提供することです。

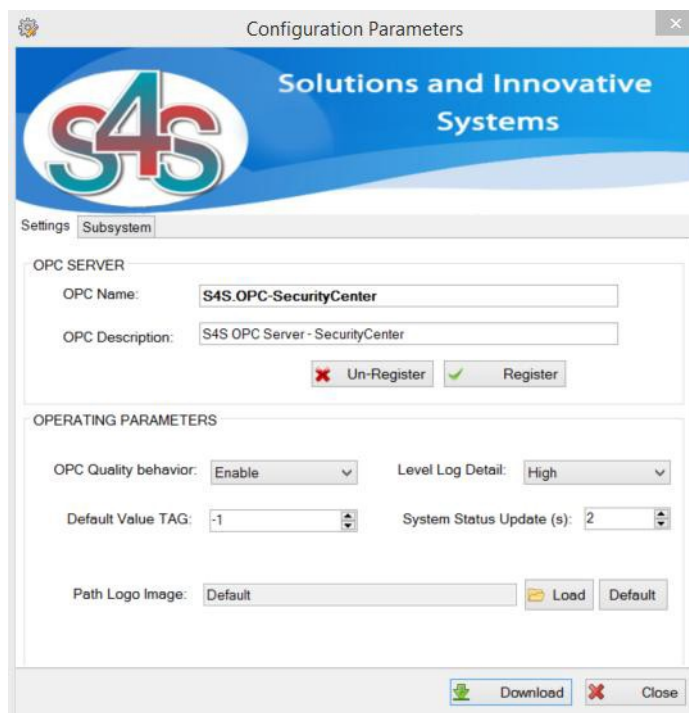
OPC サーバ セキュリティセンターと通信し、そこからデータを取得するために設定する必要があります。

OPC サーバセキュリティセンターの設定ツールが構成されてい 設定とサブシステム：二つのセクションの。

- **設定**：です ここで、OPC サーバ一般的なパラメータを定義する手段と
- **SUBSYSTEM**：です OPC サーバが接続を持っていることをセキュリティセンターを設定するためのセクション。

設定

[設定]セクションで設定することができます OPC サーバの名前と説明と主な動作パラメータ：



画像 12 OPC サーバ - SETTINGS

OPC サーバ

入力した後 OPC サーバの名前と説明あなたは、コマンド「登録」を使用してアプリケーションを登録する必要があります。場合は、あなたが最初に新しい名前です再度登録し、それを登録解除する必要があります名前と説明を変更したいです。

運転パラメータ

- **OPC 品質の挙動**
有効 または標準の OPC に従って品質特性の管理を無効にします。デフォルトは：有効
- **システムステータスを更新 (S)：**
時間（秒）セキュリティセンターの接続状態を更新します。範囲値：1 - 3600 [s] のデフォルト値：3 [s]で。
- **レベルのログ 詳細：**
画面上に提示 OPC ログの詳細レベルを定義します。三つのレベルがサポートされています：LOW、MEDIUM および HIGH
 - LOW - [初期値] - 診断およびコマンドは、OPC クライアントから受信したシステムを提供します。

- MEDIUM - すべての OPC 取引（ステータスの変更、コマンド、診断）を提示します。
- HIGH - OTS により送信されたネイティブのメッセージで、すべての OPC 取引（ステータス、コマンド、診断の変更）を提示します。\\)。詳細レベルが冗長であり、アプリケーションを遅くすることができます。通常、唯一のデバッグに使用。

すべてのログが FILE.TXT（：\ OPC- FSecurityCenter \ LOG C）上に保存されています。

- **デフォルト値タグ**

デフォルト OPC サーバは、TAG の真の価値を知らない場合に値が OPC の起動時に、たとえば、割り当てられました。デフォルト値は次のとおりです。-1。

- **パスのロゴ画像：**

アプリケーションの上に提示されるロゴを定義します。Default 値：S4S のロゴ

- **MaxNumberCameraMonitorAlarmed**

構成された警戒各モニタ用のタイルの数を定義します。タイルの心配より多くのカメラが設定がある場合はカメラは巡回モードで表示されます。

- **IDCameraDefaultMonitorAlarmed**

デフォルト カメラはタイルがアラームの発生したカメラが表示されないときに構成警戒モニターに表示されます。あなたが任意のデフォルトのカメラを表示したくない場合は 0 です。デフォルト値への値が 0 であるセット。

- **DelayCameraAlarmedCyclical**

間のミリ秒での表示時間 カメラが巡回モードで表示されている 1 台の心配カメラや他の。アラームの発生したカメラの数が MaxNumberCameraMonitorAlarmed の高い場合、その後のカメラは巡回モードで表示されます。デフォルト値は 5000 [ms] です。

- **DealyMonitorAlarmedCheck**

秒単位の表示時間。待ち時間心配設定されたすべてのモニターを確認してください。モニターがきれいになる何のアラームの発生したカメラ（AlarmedState）とデフォルトのカメラ（IDCameraDefaultMonitorAlarmed）を持っていない場合に表示されます。1 つまたは複数のカメラがモニターに存在する場合は任意の操作を行っていません。遅延値が 0 であれば任意の操作を行っていません。デフォルト値は 1 [分] です。

SUBSYSTEM

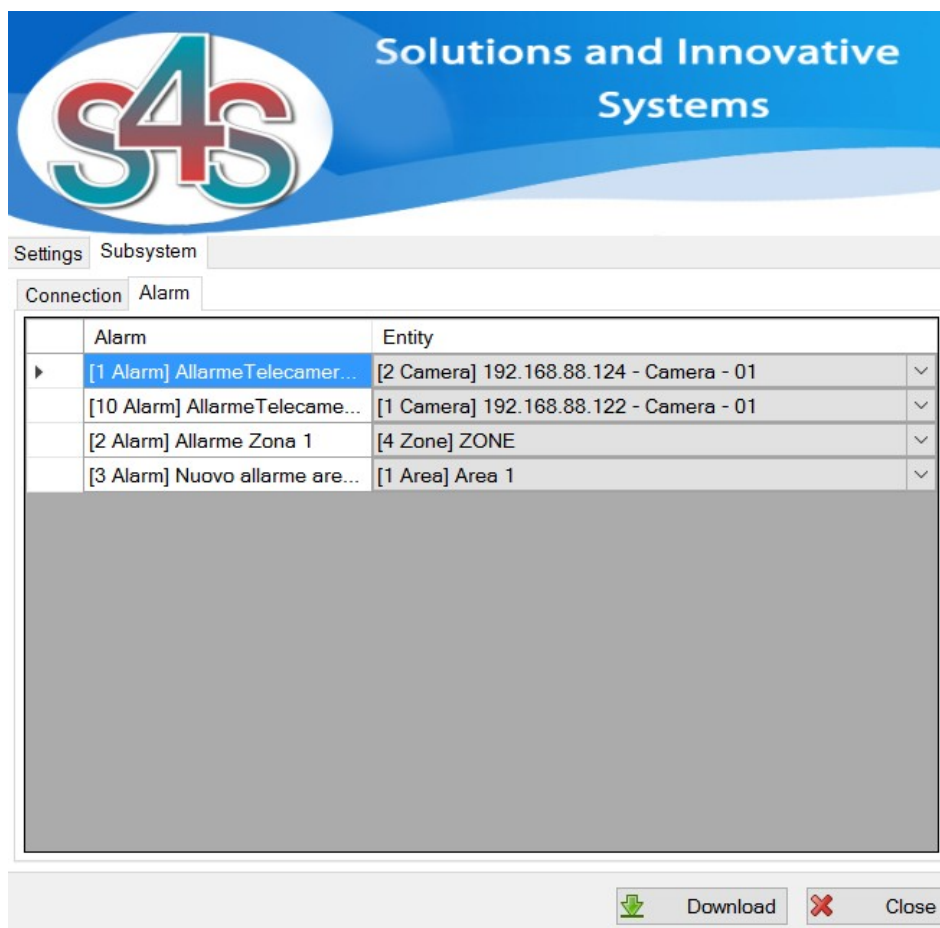
SUBSYSTEM セクションが可能に OPC サーバに接続するサブシステム（セキュリティセンター）のプロパティを定義します。



画像 13 の構成 - サブシステムの接続

- **説明**
あります サブシステムの記述（セキュリティセンター）。ステュートアップ OPC サーバでの説明は、「例」に設定されているデフォルトの 1 つのサブシステムで作成されます。説明は自由に変更することができます。
- **タグ名**
タグ 名前は、サブシステムの OPC タグを識別するために使用されます。デフォルト値は「SUBSYSTEM_ (ID)」です。
- **イーサネット**
 - **IP アドレス**
IP アドレス 接続するセキュリティセンターの。デフォルトでは 127.0.0.1（ローカルホスト）です。
 - **ユーザー名**
Usern セキュリティセンターの名前が接続されています。デフォルトでは、「管理者」です。

- ユーザー名
Usern セキュリティセンターの名前が接続されています。デフォルトでは (空) 「」 です。



アラームセクションは、ことができます エンティティが心配されるので、もしエンティティに特定のアラームに関連付けるために、アプリケーションがセキュリティセンターにトリガーアラームコマンドを送信します。

セキュリティセンターは、送信された場合 活性化のイベントとして、またはアプリケーションがこのアラームに関連付けられたエンティティのアラームなし **State** プロパティを同期させるアラームを確認。

あります ない可能准アラームの複数のエンティティ。

もし 実体はない、それは **COMAND** を送信しないアプリケーションを警戒している何もアラーム仲間を持っています。

もし アラームはあなたが **Dropbox** の経由任意のエンティティを選択してはならない任意のエンティティに関連付けられているべきではありません。

Scenari

OPC サーバセキュリティセンターは、ことができます シナリオのシリーズを構成するために、構成された各シナリオは、書き込み可能な OPC タグとして表されています。OPC タグによって、あなたは、シナリオを有効にし、無効にするコマンドを送信することができます。

あなたは、設定することができます 起動コマンドおよび停止コマンドの異なるエンティティに表示する特定のエンティティ、エンティティが構成同じモニターの最初のタイルに示されます。

```
<SUBSYSTEM Description="EXAMPLE" TAG_Name="SUBSYSTEM_1" IP="127.0.0.1" UserNme="admin" Password="">
  <SCENARIO ID="1" ScenarioON_GenetecID="1" ScenarioOFF_GenetecID="2" Monitor_GenetecID="66" />
  <SCENARIO ID="2" ScenarioON_GenetecID="2" ScenarioOFF_GenetecID="1" Monitor_GenetecID="65" />
  <SCENARIO ID="3" ScenarioON_GenetecID="1" ScenarioOFF_GenetecID="6" Monitor_GenetecID="65" />
  <SCENARIO ID="4" ScenarioON_GenetecID="4" ScenarioOFF_GenetecID="5" Monitor_GenetecID="65" />
</SUBSYSTEM>
```

画像 14 の設定 - SCENARI

- *ID*

ID は、 OPC タグの名前を定義するために Scenario_にリンクされる文字列。この値は、文字列または番号を指定できます。

注：それは重要です ID が一意であることを、同じ ID とは異なるシナリオがあってはなりません。

- *ScenarioON_GenetecID*

それはあります エンティティの LogicalId は、シナリオのアクティベーションコマンドの後にモニター上で見ます。

この 値は、セキュリティセンターによって、またはリストのエンティティダイアログで OPC-Server によって読み込まれます。

- *ScenarioOFF_GenetecID*

それはあります エンティティの LogicalId は、シナリオの非アクティブ化コマンドの後にモニター上で見ます。

この 値は、セキュリティセンターによって、またはリストのエンティティダイアログで OPC-Server によって読み込まれます。

- *Monitor_GenetecID*

それはあります シナリオの起動/停止コマンドの後の後にエンティティを視覚化するモニターの LogicalId。

この 値は、セキュリティセンターによって、またはリストのエンティティダイアログで OPC-Server によって読み込まれます。



Monitor_Alarmed タグ

アソシエーション ID モニターにカメラ。OPC クライアントアラームがオンカメラこれは、モニタに表示されたときに設定されたときに OPC クライアントアラーム-OFF を除去します。1 の場合または

複数のカメラ 心配モニターに関連付けられていない、プログラムが自動的に構成された警戒第 1 のモニタでそれらに関連付けます。

MONITOR_ALARMED タグによって定義されます。

- *ID*

Omnicast ID カメラ。カメラは、OPC クライアントによって警戒されている場合、フィールド OmnicastID で定義されたモニターに示されています。

- *OmnicastID*

Omnicast の ID モニター。君は両方のモニタ上に表示されますカメラがアラームである、このように、カメラに警戒し、複数のモニタに関連付けることができます。

例 1 :

```
<MONITOR_ALARMED ID = "1" OmnicastID = "33" OmnicastID_2 = "34" />
```

```
<MONITOR_ALARMED ID = "2" OmnicastID = "33" />
```

2 - モニター

1-MONITOR

7. OPC タグ

以下のリストは、それぞれが導入されました 簡単な説明と OPC 構造のタグ。

タグ	DESCRIPTION	タイプ	PROPERTY	値	VALUE 説明
OPC サーバセキュリティセンター					
設定					
.System_status_update [S]	秒単位のシステムステータス	INT32	R / W	1 から 3600	デフォルト値 : 2 [S]
.Date_XML_Upload	日付前回のアップロード構成データ (XML ファイル)	弦	R		DD / MM / YYYY の HH : MM : SS
.License_State	示しますライセンスのステータス。ライセンスがインストールされているが、構成されたよりも少ないタグをカバーしている場合、タグはデフォルト値 (-100) を想定ライセンス	Int16 型	R	-1 0 1 2 3	未知の デモ版を開始 デモ版のランニング デモ版は期限切れ ライセンス供与
SUBSYSTEM *					
。構成されました	サブシステムで構成さ xml ファイル。	Int16 型	R	0	構成されました
				1	設定されていません
.DESCRIPTION	説明	弦	R		
。接続	接続状態	Int16 型	R	0	接続
				1	切断
SUBSYSTEM * .Scenario [1-N]					
。状態	シナリオ 状態	Int16 型	R / W	0	オフ
				1	に
				コマンド	
				0	活性化
				1	無効化
SUBSYSTEM * .Camera [1-N]					
。名	エンティティ名	弦	R		
。ランニング	かどうかを定義 エンティティがオンライン/オフ	Int16 型	R	0	オンライン
				1	オフライン
.RecordingState	現在の記録 状態。	Int16 型	R / W	0	システムによってオフ
				1	ユーザー/マニュアルによってオ
				2	に システムによって
				3	に ユーザー/マニュアルによっ
				コマンド	
				10	録音を開始
				11	録音を停止します

.MotionState	現在の運動状態	Int16 判	R / W	0	オフ
				1	に
				14	リセット
.ManualAlarm	マニュアルアラーム状態	Int16	R / W	0	ノーマル
				1	警戒
					コマンド
				10	警報
.AlarmedState	現在の警戒状態	Int16	R / W	0	ませんアラームなし
				1	警戒
					コマンド
				12	アラームなしません
				13	警報
SUBSYSTEM * .Entity [1-N]ここで、エンティティができ：ゾーン、エリア					
。名	エンティティ名	弦	R		
.ManualAlarm	マニュアルアラーム状態	Int16 判	R / W	0	ノーマル
				1	警戒
					コマンド
				10	警報
SUBSYSTEM * .MonitorAlarmed [ID モニタ]					
.Tile [ID タイル]	タイル モニタ (nは1) の	Int16 判	R / W	0	いいえカメラは警戒しています
				1	1以上のカメラが心配します
					コマンド
				10	リセットします。 現在のタイルをきれいにデ フォルトのカメラを使用して

ライセンス注：

もし ライセンスがインストールされているが、無免許のタグは、デフォルト値 (-100) を
想定構成されたよりも少ないタグを覆っています。

未知の 値：

OPC-Server の場合は タイプタグ場合は[設定]の設定で定義された「デフォルト値タグ」で
タグ値を設定つのタグの状態を受信しないタイプは「」と文字列の設定値であれば、他の
整数です。

8. 変化する バージョン OPC セキュリティセンター1.0.3 から

最新バージョン 1.2.0 は、古いバージョン 1.0.3 とは異なるいくつかの OPC タグ名があります。

OPC タグリファレンス	古い OPC タグ名	新しい OPC タグ名
サブシステム	<i>.ConnectionState</i>	。 接続
エンティティ/カメラ	<i>.AlarmState</i>	<i>.ManualAlarm</i>
シナリオ	<i>.Scenario.Scenario_*</i>	。 シナリオ*